



教労

NEWS

第394号
2024年11月13日

愛知県教職員労働組合協議会

どう考える？

大阪・関西万博への修学旅行

大阪・関西万博への修学旅行については、文科省からの「通知」、県教委からの依頼文書があり、県内のいくつかの小中学校で計画や検討が行われています。

安全面は大丈夫？

まず、バスから会場入り口まで1キロ近く歩くことについては、災害時の避難や暑さへの対応などが心配です。さらに、会場の「夢洲（ゆめしま）」はごみが埋め立てられているため、可燃性ガスが発生し続けています。工事中に引火する事故が発生したことや、強毒のヒアリの発見が報道され、驚きました。



学びはどうなる？

そもそも各世論調査を見ても、人々の関心は低く、巨額のお金をつぎ込む事業への賛否は拮抗しています。また、パビリオン建設は間に合うのか、下見はどの程度できるのか、見学内容はどうなるのかなど、まだ不透明です。とりわけ小学校では、安全への配慮から、グループ見学などの主体的な活動が制限されることも考えられます。



会場MAP (大阪万博公式HP参照)

慎重に対応を

これまで修学旅行は、教科内容をはじめ、歴史や文化、環境、防災などの学習と関わらせながら、子どもたちの楽しい思い出、貴重な体験、豊かな学びの場となるようにそれぞれの学校で取り組まれてきました。そのような有意義な体験・学びとなるのか、子どもたちの安全は確保できるのか、問題点を明らかにし慎重に検討すべきではないでしょうか。



幹事：新井

愛知県における任意団体等による
「名簿・金品授受」
に関するアンケートはこちら▶

